

# 木曾岬町立木曾岬中学校 部活動指導方針

## 1. 意義

- ・生涯にわたってスポーツや文化に親しむ能力や態度を育て、体力の向上や健康の増進、文化的素養の充実を図る。
- ・異年齢集団による活動を通して、生徒の自主性や協調性、責任感、連帯感などを育成する。

## 2. 学校教育目標

- ・「自立した生徒、共に生きようとする生徒を育てる」
- ・めざす生徒像
  - 自ら学び、考え行動できる生徒
  - 互いに認め合い、高め合う生徒
  - 心身の健康と安全に心がける生徒
  - 夢や目標にむかって頑張る生徒

## 3. 部活動目標・活動方針

- ・生徒の自発的・自治的な活動となるように努める。
- ・教師と生徒、生徒相互の人間的な関係を深める。
- ・集団的活動を通して、公民的な資質を培う。
- ・実践を通して自主性を育て、個性を伸ばす。

以上の目標を達成するために、全教職員の協力、協働のもと計画的に部活動を運営する。その際、体罰を「しない」「させない」「許さない」という信念で指導に当たる。

## 4. 本校の部活動

- ・体育系部活：野球部（男女）、ソフトテニス部（女子）、バレーボール部（女子）
- ・文化系部活：美術・ボランティア部（男女）

## 5. 入部、退部について

- ・原則として入部決定後は所属を変えない。やむを得ず転部・退部をする場合は、定められた手続きをする。
- ・退部・転部の場合は、該当生徒と十分に話し合い、保護者にも連絡を取る。
- ・部活動未加入の場合は、未加入届けを提出する。

## 6. 廃部について

- ・新人大会に出場できる人数（エントリー数：別に定める）が確保できない場合、部員が0人となった場合、廃部とする。その場合の入部希望者は入部を認めない。4月に入部希望をとった時点でその年の新人大会に出場できないと分かったら、その部への入部を認めない。
- ・廃部の際には、現部員が引退するまでは活動を保障する。

## 7. 活動について

- ・クラスや学年を超えた人間関係を体験する場とする。
- ・活動時の安全面には十分配慮し、生徒にも安全面での指導を行い、事故防止に努める。
- ・平日の練習において、顧問がつけられない場合には、練習メニューなどを確認し、怪我やトラブルがないようにする。
- ・活動時間については、別に定める下校時刻までを上限とし部ごとに適切に定める。
- ・月ごとに活動計画を出す。
- ・必要に応じ、外部指導者等の協力を得て、連携しながら活動する。

## 8. 経費について

- ・部活動における備品、登録費、大会参加費、選手派遣旅費等の諸経費については、学校の予算の範囲内において運営の工夫に努める。

## 9. 部費について

- ・消耗品の補充や学校を出ての活動の時の交通費などで部費を集めることがある。
- ・保護者の経済的負担を十分に考慮する。

## 10. 大会・対外試合等について

- ・生徒への配慮とともに、保護者の負担も考慮し、年間を通して参加する大会や対外試合等を精選し、計画的に参加する。
- ・中体連の大会の引率については、全教職員で協力して対応する。
- ・対外試合等の引率については、集合時刻や集合場所、移動手段は、安全等に配慮し、無理なく設定する。

## 11. 休養日について

- ・基本的に土日のどちらかは休みにし、平日も1日は休みの日をつくる。ただし、大会等が土日にある場合は両日とも休みにならないことがある。その場合は、別に休養日を設ける。
- ・土曜授業日と大会等が重なったときには、学校を欠席しても欠席の扱いにはならない。(中体連や協会の大会などの場合)
- ・健康安全面を考慮し、適宜休養日を設ける。

## 12. 活動時間

- ・平日は2時間、休日は3時間以内にする。やむを得ない理由でこれを越える場合は、事前に計画等で校長に承認を得る。

- ・平日 終了時刻は以下の通り。下校時刻は、その15分後とする。

4月～7月 : 5時15分

夏休み中 : 4時45分

9月 : 5時15分

10月 : 4時45分

11月～冬休み最終日 : 4時15分

冬休み明け～2月 : 4時45分

3月 : 5時15分

- ・休日及び長期休業日

終了時刻は平日の終了時刻と同じとする。大会や練習試合等で終了時刻を越える場合は、生徒の下校時の安全面に十分に配慮する。長期休業中は、休日の活動を行わない。

- ・定期テスト期間の活動休止について

中間テストは1週間前、期末・学年末テストは10日前からテスト終了までの間の活動は休止する。

大会等でこの期間中に活動をする必要がある場合は、人数・時間・内容について精選した上で全職員の下承のもと活動を認める。